

会派行政視察報告書

会派行政視察における調査結果について、下記のとおり報告いたします。

令和元年11月12日

光市議会議長 西村憲治様

光市議会会派『新風会』

代表 河村龍男

議員 岸本隆雄

記

- 1 視察年月日 令和元年10月30日～31日（1泊2日）
- 2 調査市等 高知県高知市
- 3 調査結果 別紙のとおり

新風会視察報告書

日時	令和元年 10月30日(水)・31日(木)
調査市名	高知県高知市 高知ちばさんセンター
テーマ	第14回『全国市議会議長会 研究フォーラム in 高知』 ○議会活性化のための「船中八策」
概要	<p>【テーマ】議会活性化のための「船中八策」</p> <p>○第一部(30日)</p> <p>基調講演 中島 岳志 (東京工業大学 教授) (テーマ) 現代政治のマトリクスーリベラル保守という可能性</p> <p>○第二部(30日) パネルディスカッション (テーマ) 議会活性化のための「船中八策」 (コーディネーター) 坪井 ゆづる (朝日新聞論説委員) (パネリスト) 高部 正男 (市町村職員中央研究所学長) 横田 響子 (コラポラポ代表取締役) 古川 康造 (丸亀商店街振興組合理事長) 田鍋 剛 (高知市議会議長)</p> <p>○第三部(30日) 意見交換会</p> <p>○第四部(31日) 課題討議 (テーマ) 議会活性化のための「船中八策」 (コーディネーター) 坪井 ゆづる (事例報告者) 滝沢 一成 (上越市議会議員) 久坂 くにえ (鎌倉市議会議長) 小林 雄二 (周南市市議会議長)</p> <p>各、パネリストの意見は、以下のとおり。</p> <p>1 【高部さん】</p> <p>(1)『課題として』</p> <p>ア 行政監視機能をどうやって高め、成果を上げていくか。 イ 人口減少、災害対応など地域の将来を見据えた政策論議。 ウ 住民の関心を高めるには、何をなすべきか。 エ 首長の提出した議案を修正、否決していない。 オ 議員提案の政策条例を策定していない。 カ 投票率の低下・・・議会への無関心。 キ 議員構成の隔たり・・・女性、若者の参加。 ク 政務活動費の不正使用。</p> <p>(2)『今後のあり方』</p> <p>ア 議会運営についての細部にわたる規制の取り決め。 イ 多様な人材の市議会への参加促進を促す方策。</p>

- ウ 休日、夜間の議会開催。
- エ 議員同士が議論の上、条例を策定すること。
- オ 議員の厚生年金の加入。

2 【横田さん】

(1) 『現状は』

- ア 20年後の住民は、幸せですか。
- イ やりばなしにしていますか。
- ウ PDCAに取り組んでいますか。
- エ ガチンコ会議を 多様な人材で実施されていますか。
- オ 中長期的な視点で街の目指す方向を議論していますか。

(2) 『今後のあり方』

- ア 住民参加の事業仕分け。
- イ 内外問わず、団体、組織などと組むことで問題を解決していく。
- ウ 事前主義からの脱出。(外の人、組織と一緒に行動すること)
- エ 永遠のベータ版 (完璧主義からの脱出・ スピードがなければ) でトライ!
- オ 中長期戦略を検討していく。

3 【古川さん】

(1) 『これからのまちづくりは』

- ア まちづくりは、地元主導でしか 成功しない。
- イ まちづくりは、自分達の街を 自分達で自らリスクを負い自治権をもって運営していく。
- ウ まちづくり成功の大前提は、地元コミュニティの現存。
- エ 街の人々は、地域に対して責任を負う「本気」の覚悟が必要。
どれだけ優れたリーダーがいても、行政の支援があっても、地域のコミュニティが崩壊していれば開発は不可能だ。生まれ育った地元に対する熱意と触媒とコミュニティの存在こそが、まちづくりの成功には欠かせない条件です。

4 【田鍋さん】

(1) 『主な議会改革の取り組み』

- ア H26年 議会独自の行政評価を開始した。
- イ H30年 予算決算常任委員会を設置した。

5 【滝沢さん】

(1) 『市議を目指しやすい環境整備』

- ア 市議を目指しやすい環境整備検討会の設置。
一年後、議長に提言書を提出。
- イ 市民との意見交換会
(ア) ホワイトボードミーティング形式。

(イ) 昼の部と夜の部 2回開催。

ウ 議会モニター制度の導入。

6 【久坂さん】

(1) 『女性議員の現状の視点』

ア 女性議員の環境整備にむけて

(ア) 出産に伴う議会の欠席に関する規定について

(イ) 取得期間及び運用についての考え方を明示。

(ウ) 子供の看護休暇に関する規定の整備。

(エ) 配偶者出産休暇の取得。

(オ) IPU「ジェンダーに配慮した議会のための行動計画」

(カ) 議会における仕事と家庭の両立支援のためのインフラ及び議会文化の整備と改善。

7 【小林さん】

(1) 『周南市議会事例報告』

ア 行政監視機能の充実

(ア) 議会開会中は、もちろんのこと閉会中であっても、市政における重要案件について積極的に調査を行う。

(イ) 執行機関の監視と 効率的・効果的な事務執行を促す。

(ウ) 全ての指定管理者制度に関する調査を行う。

(エ) 100条委員会の開催。

(オ) 委員会懇談会（ミニコン）の開催。

(カ) 議会提案による政策条例の制定。



所感

「議長会研究フォーラムは、勉強になるよ。」と聞いておりましたので今回、初めて参加させて頂きました。

二日間の短い研修でしたが話に聞いていた通り素晴らしい研修会で、議員としての能力が二段階ぐらいグレードアップしたのではないかと感じました。

まず、全国から約2600人の議員が、一堂に会した会場。

研修会が、始まると会場は水を打ったような静けさ、テレビで見かけたことのある坪井コーディネーターのユーモアを交えた厳しい現実の投げかけから始まって行きました。

内容を少しお話しますと、「いま、世論は実に厳しい。いまだに『自治の主演』の自覚に欠ける議員が存在している」という「議会不振」が根強くあるのは否定できない事実ではないか。

全国津々浦々で、選挙のたびに過去最低の投票率が相次いでいるのも、議会に向けられた冷ややかな視線の表れに見えます。

ならばこそ、こうした世論を踏まえつつ、このフォーラムを、活力があり、質の高い議会を実現してゆくための具体策を考える機会にして頂きたい。だから名づけて「議会活性化のため船中八策」です。とスタートいたしました。

今回のフォーラムに参加させて頂きまして、議員、議会は、「自治の要」であること予算や事業の賛否などの最終決定権を握っているのは議会であり、光市の将来を左右する重大な使命を担っている事 改めて勉強させて頂きました。

一つ一つの課題につきましては、パネリスト、報告者の意見を参考に取り組んで参ります。

将来の子供達に何を残してやれるのか！後に続く者達のために、今まで以上に努力させて頂きます。